

No. 11-7

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 11 - 7

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与 6		作成日		28年 5月 23日			
事務事業名		敬老事業				シート作成部署					
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち				課名	長寿福祉課		係名	高齢福祉係	
		2-2 支えあいを実感できるまちをつくる					シート作成者				
	施策	2-2-3 高齢者福祉の推進				予算費目	会計		一般		
							款		3		
主要施策	⑤ 生きがいつくりと社会参加の促進				項		1				
					目		2				
個別計画名		高齢者福祉計画									
		介護保険事業計画									
住民との関わり		住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）									
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）						
	数え年で75歳以上の高齢者				高齢者に対し、地域で長寿を祝うとともに地域コミュニティを推進し福祉の増進を図る。						
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）				敬老行事を自治会で開催した際の経費及び地域見守りのための状況把握を行う経費に対し、補助金を交付する。						
事業期間		昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 24年度 ~ 平成 年度（年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし									
根拠法令・要綱等		東員町敬老行事補助金交付要綱									
		平成26年度（決算）		平成27年度（決算）		平成28年度（予算）					
全体事業費（千円）A+B		4,359		4,513		5,133					
財源内訳	国庫支出金		0		0		0				
	県支出金		0		0		0				
	地方債		0		0		0				
	その他特定財源		0		0		0				
	一般財源		3,831		3,985		4,605				
直接事業費（千円）A		3,831		3,985		4,605					
人件費（千円）B		528		528		528					
内訳	一般職員（人・千円）		0.30 人 528		0.08 人 528		0.08 人		528		
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人		0		
成果指標	成果指標名			単位	27年度		28年度	29年度			
					目標	実績	(目標)	(目標)			
	①	敬老行事出席者及び地域見守り状況把握数		人	3,067	2,692	3,205	3,250			
	②										
③											
説明	数え年で75歳以上の高齢者における地域で開催される敬老行事の出席者及び地域見守りのための状況把握を行った人数を指標とする。										

事業名	敬老事業	シート作成課	長寿福祉課
-----	------	--------	-------

一次評価者	長寿福祉課長	二次評価者	福祉部長
-------	--------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明		
	一次	二次			
必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	高齢者の福祉の増進及び、社会参加のきっかけとなり地域コミュニティの推進につながることを期待できます。	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	地域全体での高齢者の支えあいを深める事業であり、高齢者が住みよい安心なまちづくりへの効果も期待できます。	
達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	身近な地域での敬老行事の開催により、参加者の増加が図れています。また、敬老行事に参加できない高齢者の状況把握により、地域見守りにつながっています。	
効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	身近な地域での敬老行事の開催となり、参加者が増加しました。	

本事務事業の実施適切性の説明

身近な地域での敬老行事の開催により、参加者の大幅な増加を図ることができました。敬老行事に参加できない高齢者の状況把握により、地域見守りにつながっています。地域を挙げての実施は、地域全体での高齢者の支えあいを深めることができることから、今後も継続していく必要があります。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	(8) B	(8) A
		(7) D	(6) C	(2) (5) (6) (8)			
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
今後の改革・改善目標	敬老行事への参加者の増加と地域コミュニティの推進を目的と掲げていることから、現行の補助要綱により事業を継続します。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	(8) B	(8) A
		(7) D	(6) C	(2) (5) (6) (8)			
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
コメント	地域コミュニティの推進は今後重要な取り組みとなります。事業の定着化を期待します。						

二次評価に対する課の考え方

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する
------------	------	----	------	---	------------